



株式会社ソーイング竹内

製造業
(縫製加工)

2022年に創業40年を迎えた同社は、地域産業である播州織のノウハウを生かした縫製加工、雑貨製作を行っており、自社独自のブランドを展開している。コロナ禍には地域の自治体に布製マスクを寄付するなど、地域社会への貢献に積極的に取り組んでいる。



事業者概要 (2020年7月現在)
代表者 代表取締役 竹内 裕児
本社所在地 兵庫県多可郡多可町中区靴屋90
電話番号 0795-32-0018
従業員数 24名
主な事業内容 縫製加工全般・雑貨商品の製造販売
URL <https://www.sewing-takeuchi.co.jp/>

取組の背景

- 環境経営に強い意欲を持ち、環境省のエコアクション21には2004年の立ち上げ当初から認証を受け、毎年環境経営レポートで取組成果を報告していた
- エコアクション21のガイドラインにCO₂排出量削減が追記されたことを受け、2017年より消費電力の再エネ化を推進

播州織 # 地域ブランド # エコアクション21 # 環境経営
太陽光発電 # FIT # 蓄電池 # 地域防災

取組の内容

太陽光発電設備の導入

- FIT制度を活用し、本社工場屋根と社外の二カ所に売電用の太陽光発電設備を設置
- また、本社オフィスの屋根に太陽光発電設備(50kW)を設置し、発電した電力を自家消費
- 自家消費用の太陽光発電と蓄電池システムの設置にあたっては、国(環境省)の補助金を活用

→ 2021年度の全消費電力のうち、年間平均で57%、日照時間の多い夏場では約70%を太陽光発電でまかなっている



本社オフィスの屋根に自家消費の太陽光発電設備を設置

蓄電池の設置により夜間の電力供給だけでなく地域防災にも貢献

- 本社敷地内に大型の蓄電池(80kW)を設置し、蓄電した電力を夜間の電力供給に利用
- 災害時には非常用電源としても活用を想定し、避難所として本社屋を利用できるように地域と協定を締結

太陽光発電設備および蓄電池の設置前(2018年度)と比較し、

◆CO₂排出量：40,796kg(2018年度)
→22,061kg(2021年度)と

約46%の削減に成功

◆購入電力量：60,563kWh(2018年度)
→37,557kWh(2021年度)と

約38%の削減に成功



大容量蓄電池で夜間や非常時でも電力の供給が可能に

設備更新と社内啓発で社内の省エネを推進

- LED照明の導入・人感センサーによる不在時の自動消灯で消費電力を削減
- 環境経営レポートは社内でも共有し、社員の意識啓発にも活用

→ 今後は太陽光発電設備の増設を検討し、購入する電力についても2030年度までに全てCO₂フリーの電力への転換を目指す



オーガニックコットン+播州織+のこり染を使用した新ブランド「BF KITCHEN」